

授業構想シート

作業学習版

作業種目 _____

_____ グループ

授業者 _____

生徒名

※項目と視点の番号は、『授業構想チェックシート』の《内容チェック》の番号と対応しています

※授業構想時に『授業構想チェックシート』の《内容チェック》と合わせて《意欲チェック》も参考にしてください

《内容チェック：学習内容がしっかりと身につくように》

0. 児童生徒の実態把握

- ①個別の年間指導計画で教材、題材目標を確認しましょう。
- ②前年度の個別の指導計画の評価やチェックリストで到達状況を確認しましょう。
- ③題材の個別の指導内容を具体化しましょう。
- ④実態表を作って、実態把握をしましょう。(思考過程の分析表や工程分析表も使いましょう)
(実態把握について)
実態把握のための情報収集には、検査を用いたり、実際に児童生徒の行動観察を行うこと等、色々な方法があります。ここでは、行動観察を行う際のポイントを紹介します。

- ・子どもがどんなことができている、どこでつまづいているのかや、したこと、しなかったことについての分析のために、“どんな仕方だったのか”や“教師とどんなやり取りをしたのか”などを詳細に記録をしましょう。
- ・作業学習や清掃、着替えなどではあらかじめ記録する行動を決め、記録しやすい表を作成し、仕方や回数、かかった時間などを記録することが適している場合もあります
- ・複数の教師で情報収集したり、分析したりするとより正確な実態把握となります。

- ⑤つまづきの原因を考えて指導する内容を決定しましょう。
実態を調べると、複数のつまづきが見られることがあります。題材においては、時間数に限りがあり、すべてのつまづきを指導することはできません。また、子どもにとっても、一度に多くの問題を解決していくことは負担がある場合が多いです。そこで、いくつかのつまづきの中から優先的に指導する内容を定めることとなります。
そのとき、以下の3点から検討しましょう。
 - (1) 本当にこの題材で達成が可能ですか。【可能性】
 - (2) 現在の生活の中で、困っていることや指導しておく必要がありますか。【必要性】
 - (3) この教材は将来の豊かな生活につながる価値がありますか。【価値性】

いったんここで、 **1. 教材について**の項目をチェックしましょう

0. 題材目標の設定

- ⑥題材目標を決めましょう。目標を設定するときは以下の3点を基本に考えましょう。
 - (1) 子どもの実態は様々です。それぞれの子どもの目標の個別化をしましょう。
 - (2) 授業の評価・改善ができるように、題材の最後の姿(到達像)の具体化をしましょう。
 - (3) 子どもにとって、多くの事を一度に学ぶのは、難しいことがあります。身につけたいことを焦点化しましょう。
- ⑦個別の教育支援計画を確認しましょう。
本人の将来の夢や保護者のニーズなどとの関連について確認や把握をしましょう。
- ⑧前単元や題材で意欲的に取り組めた工夫を活用しましょう。
例：教材の仕組み、学習環境の工夫など

0（ゼロ）シート

0. 児童生徒の実態把握

--

0. 題材目標の設定

--

□目標設定までの内容は、主事に確認を行う

1. 教材について どんな教材を考えていますか。

- ①その題材で生徒に身につけてほしい力（指導内容）を指導できる教材になっていますか
- ②生徒にとって教育的価値の高い作業活動等を含んでいますか含んでいますか
- ③共同で取りくめる作業活動を含んでいますか
- ④将来的に一人ですることが可能な作業ですか
- ⑤生徒の実態に応じていますか
- ⑥生徒の手で、スムーズに流れる分担箇所になっていますか

※単元を計画する際は必ず記入。題材②③④でこのシートを扱う際はこの項目を省略する。

2. 題材計画について 　めあてを達成するためにどのような手順で授業を進めていきますか。

- ①一次は課題や学習に興味関心を持つ、二次は内容を身につける、三次は自分で行動を決定し、主体的に取り組むための活動を設定していますか
- ②実態に応じて段階的に到達像に近づくようにできていくことやわかることなどが段階化されるように計画されていますか

3. 学習環境：場面設定について どんな仕組みを考えていますか。

- ①活動の流れ、量、しやすさを考慮して道具、材料の配置が考えられていますか
- ②学習以外のものに注意が向かない環境に整えられていますか

4. 学習環境：課題、目的、役割、決まりなどの設定について

どんな課題、目的、役割、決まりなどを設定していますか。

- ①意識しやすい作業課題を設定していますか
- ②報告・連絡・相談の決めごとが明確になっていますか
- ③作業時間や休憩時間が明確になっていますか

5. 学習環境：教具について どんな教具を考えていますか。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①生徒の機能面や特性に応じて一人で取り組むことができるように工夫されていますか |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②活動やその仕方、手順がわかりやすく伝えられるものになっていますか |

6. 学習活動について 1時間の授業の流れをどのようにしますか

※このページのみA3に拡大コピーしてご利用ください。

- ①導入は、課題や興味関心が持てるよう、既習した内容を想起させる活動や本時における活動を理解できる活動を組んでいますか
- ②展開は、新たな内容を理解させるため、教具の操作の意味を説明したり、実際に教具を操作したりする活動を組んでいますか
- ③発展は、定着、応用、工夫を図るために、短時間で正確にできるように練習問題をしたり、操作を繰り返したりする活動を組んでいますか
- ④終末は、今日の取り組みを評価（自己評価）し、次時への意欲や期待を持てるような活動を組んでいますか

[振り返りの視点] 今日わかってほしかったこと・生徒の様子・改善のポイント ①自己 ②学部会・研究日でのアドバイス等 ③その他の場面でのアドバイス等

活動	振り返り	活動	振り返り
<導入>		<導入>	
<展開>		<展開>	
<発展>		<発展>	
<終末>		<終末>	

※「7. 教師の働きかけについて」は『授業構想チェックシート』を参照